

各地でメーデー開催！

「第96回大阪地方メーデー」

連合大阪主催の「第96回大阪地方メーデー」が、5月1日(木)、大阪城公園にて開催され、約1万名主催者発表が集結した。JR西労組からも、中央本部の役員や、大阪地本・本社総支部・西バス地本など大阪地区で働くJR西労組組合員やその家族が労働者の祭典に参加した。

議長団には、大阪地方本部 榊野執行委員長(連合大阪副会長)が選出さ



大阪城公園で開催された大阪地方メーデーには約1万人が参加した

の広がりや地政学的リスクの増大などは、企業活動だけではなく、働く人の雇用や賃金、暮らしに直結している」と挨拶で述べた。

また、集会では、連合が取り組む、5月1日をメーデーとして祝日にする、「祝日法制化」に向けてのアピールや、参院選必勝特別決議、戦後80年に関する特別決議が採択され、二人ひとりが尊重され持続可能で多様性を認め合える社会づくりを進めていこう!と、メーデー宣言を採択し、連合大阪田中会長

の団結カンパローで閉会した。

また、連合中央及び各府県などで行われたメーデーにも、関係地方本部を中心に、多くの組合員が参画をした。

滋賀県へ自治体訪問

三日月大造滋賀県知事(JR西労組議員団会議所属)と意見交換

中央本部と京都地方本部は、4月23日(水)に、JR連合、JR北労組並びにJR北労組議員団会議所所属議員とともに、滋賀県庁を訪問し、JR西労組議員団会議に所属する三日月大造滋賀県知

事と、交通政策を担当する部署も交え意見交換を行った。

冒頭、三日月知事から「持続可能な公共交通にむけては、事業者だけに任せるのではなく、今後は自治体も積極的に関与しなければならな

り、特に浜田駅と広島駅間の「いさりび号」に関しては他の公共交通がなく、存続の使命と重要性を強く感じています。

2025年10月1日に営業所から派出所に変更になり労働環境が大きく変わりました。最初は戸惑いばかりで大変でしたが、それを乗り越えることで、乗務員それぞれが責任感を強く持つようになり、仕事に対する



滋賀県内の地域公共交通の取り組みについて説明を受ける

また、滋賀地域交通ビジョンで示されている、豊かな暮らしの実現に向けて、利便性が高くかつ効率的で、地域に最適化した交通手段とするため、財源確保も含めて、県民、交通事業者、市町村とともに議論を重ねていることが紹介された。



三日月知事を囲んで

ロマンは実を結ぶ

中国JRバス地方本部 浜田分会

No.361

中バス地本浜田分会は、組合員11名で構成され少数人数ですが、結束力のある分会となっています。

JRバス中国浜田派出所

は、東西約230キロと長い島根県の西部に位置し、特産品は魚のすり身から作る「赤天」や、しつかり脂のつたブランド魚の「どんちっちアジ」などがあり、海の幸に恵まれた、素晴らしい場所です。

また、石見神楽がとても盛んで、郷土を愛する気持ちが強い上、心優しい方が多く、バスを利用されたお客様から「ありがとぅね」と声をかけていただく場面もあり、優しい空気に包まれながらバスを運行しています。

現在、浜田駅と広島駅をつなぐ高速線「いさりび号」と、江津駅、益田駅、浜田駅と大阪駅をつなぐ高速線「浜田道エクスプレス号」を運行して



海の幸が堪能できる浜田市へぜひお越しください

はりまくん

